



**DXを、難しい話で終わらせない。
中小企業の最初の一歩まで案内します。**

中小企業のための、やさしいDX・AI相談ナビ

BizAI-Evo DX Navigator

日々の業務に積み重なる、小さなムダ。

毎日続くと大きな時間ロスに。DXは、こうした身近な業務から始められます。



大企業向けの大規模なDXではなく、 小さく、安く、現場で使えるDXを。

一般的なDX

ターゲット	大企業・全社改革
アプローチ	高額なシステム導入
言語	専門用語（クラウド、API、PoC等）
起点	高度なIT戦略

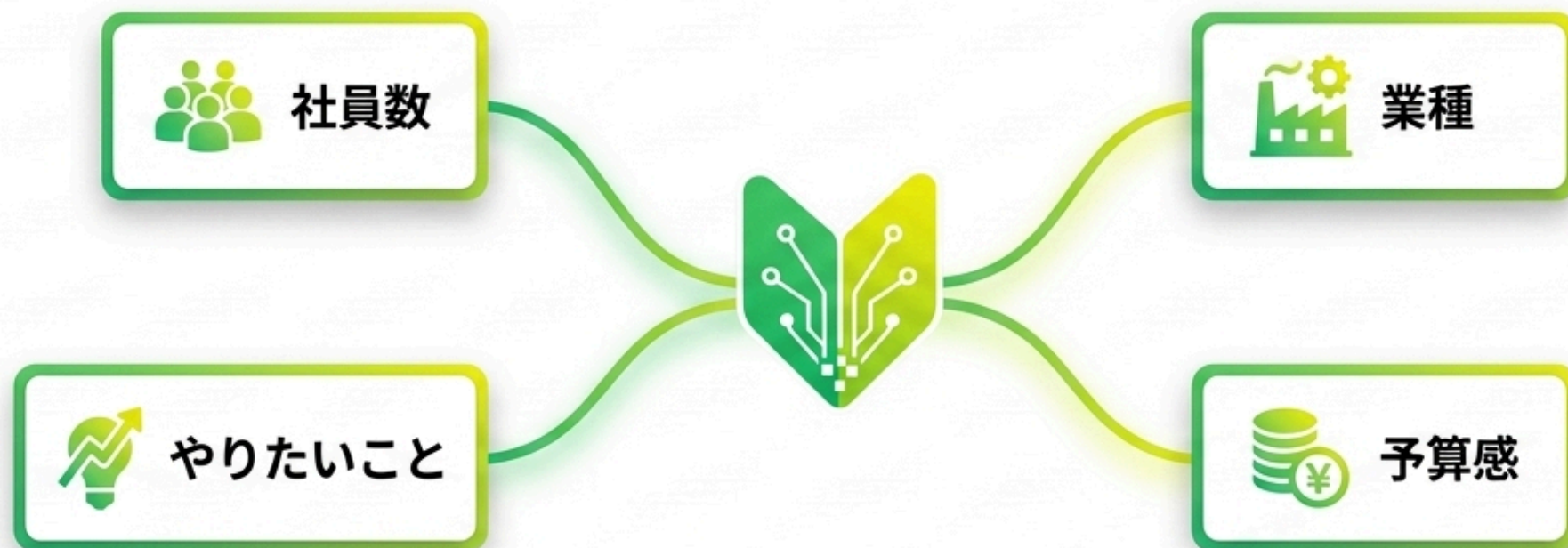
BizAI-Evo DX Navigator

- 中小企業・小規模事業者
- 無理なく始められる小さな改善
- 非エンジニアでも分かるやさしい言葉
- Excel、メール、紙など現場の困りごと

会社の状況を一つずつ聞きながら整理する「案内人」

難しい専門用語を並べるAIではありません。

いきなり複雑な質問をまとめて投げかけず、状況に合わせて対話します。



「何を相談すればよいか分からない」状態でも、会話しながら整理できるのが特徴です。

こんな会社・担当者に向いています



社員数1~100名程度の中小企業



IT専任者がいない、
または少ない会社



紙、Excel、FAX、
手入力の作業が多い会社



大きな投資より、
まず小さく試したい会社



現場に負担をかけず、
少しずつ業務改善したい会社

「DXと言われても難しい」「AIを使えと言われても現場でどう使うのか分からない」と感じている経営者や現場責任者に最適です。

機能 1&2：利用者の状態に合わせた「2つの入り口」

1. DX・AIのやさしい相談

現状、困りごと、課題、改善案を
会話しながら整理。

自社課題がすでにある会社向け。

2. DX・AIの入門学習

DX/AIの基本を非エンジニア
向けの言葉で学習。

専門用語（API、クラウド等）
もその場で短く解説。

知識に不安がある人向け。

機能 3：中小企業向けの「小さな改善テーマ」提案

簡単そうだが、まだ手を付けられていない改善をカテゴリごとに整理。



Excel転記の
自動化



月次集計の
半自動化



見積書作成の
効率化



請求書作成の
効率化



予定表の共有



日報入力
の簡略化



点検記録の
デジタル化



FAX受注の
転記削減



顧客情報の
一元化

機能 4：「明日から何をすればよいか」が分かる初期ロードマップ

改善案だけで終わらず、3か月程度の現実的な計画に落とし込みます。

1か月目：
現状整理と
対象業務の選定

2か月目：
小さな仕組みを
試す

3か月目：
効果確認と
社内展開

大きなDX 計画ではなく、
「最初の一步」が見える計画を重視。

機能 5：社内共有にそのまま使える「レポート生成」

「相談しただけで終わる」のではなく、あとから見返せる資料として残せます。



上司への社内説明や、次回の打ち合わせ資料として即活用可能。

BizAI-Evo DX Navigator 5つの強み

1

**中小企業
向けに
絞っている**

(現実に合わせた
案内)

2

**専門用語を
やさしく
説明する**

(置いてきぼりに
しない)

3

**現場で使える
改善を
優先する**

(高機能より、
続けられること)

4

**相談から
学習まで
対応できる**

(課題相談と
基礎学習の両立)

5

**最後に
次の行動が
分かる**

(止まらずに次の
一歩へ進む導線)

現場での具体的な利用シーン



経営者の初回相談に

「何から始めればよいか分からない」
状態から現実的な改善案を整理。



社内DXのたたき台作りに

上司やメンバーへ説明するための、
現状課題と優先順位の資料化。



ITが苦手な現場責任者の相談に

日報や点検など、ITの言葉で説明できな
い身近な業務からテーマを発見。



DX入門教材として

一方的な説明ではなく、対話と理解確認
をしながら進む社内研修ツールに。

提供できる価値は、単なるAI回答ではありません。



DXを難しいものにせず、日常業務の改善として扱う。
AIを特別なものにせず、現場の道具として使う。



大きな改革より、まず小さな改善。 現場で使えるDXを一緒に見つけます。

Excel、紙、メール、手入力。そのムダから、DXは始められます。

中小企業のDXを、もっと身近に、もっとやさしく、もっと実用的に。

BizAI-Evo DX Navigator